

【RPE】★『ザイム真理教』とは？

RPE Journal=====

ロシア政治経済ジャーナルNo.2572

2023/12/18

=====

今日は、『ザイム真理教』についてです。

詳細は、↓

↓

PR

●【聖徳太子】の成功法則を世界のリーダーが学んでいる？

北野です。

気絶しそうになりました。

なんでも聖徳太子の成功法則というものが存在する。

それは、日本資本主義の父・渋沢栄一、

日産コンツェルンの創業者・鮎川義介に伝承された。

その存在を知ったドラッカーは、驚愕し、その教えを学んだ。

そして、オラクルの創業者ラリー・エリソンは、京都に家を持ち、いまだに学びつづけている。

こんな話、皆さん信じられます????

この秘密の話、今回だけ【無料】で知ることができる
そうです。

こんな機会はメッタにありませんので、いますぐこの
情報をゲットしてください。

詳細はこちら↓

<https://realin.org//c/e7cwawss/4BKr2sBK>

▼本文へ

=====

★『ザイム真理教』とは？

全世界のRPE読者の皆さま、こんにちは！

北野です。

激動の2023年も、もうすぐ終わりですね。

時の流れるのは速いです。

モスクワから日本に戻ってきて、もう6回目の新年を迎え
ることになります。

今年もいろいろありました。

いろいろあった中で、今年について、

「日本が暗黒の30年になったのは、財務省の増税路線のせいだ」

という事実が、広く拡散された年だったということもできるかと思います。

きっかけはもちろん、2月に発売されて大ベストセラーになった

◆『安倍晋三回顧録』

詳細↓

<https://amzn.to/3vbJoxp>

でしょう。

これ、私は「安倍外交の真実」が知りたくて買ったのです。

外交の話もとても面白かったです。

しかし、別の話で、卒倒しまくりでした。

もちろん、財務省についての話です。

たとえば、消費税引き上げの裏話がかかれてあります。

2012年6月、野田政権下で、民主、自民、公明の「3党合意」が成立しました。

2012年12月総理に返り咲いた安倍さんは、2014年合意に従って消費税率を5%から8%に引き上げました。

そして、「3党合意」では、消費税率を2015年に8%から10%に引き上げるようになっていました。

安倍総理は、これに抵抗し、4年間延長することに成功しています。

なぜ消費税率再引き上げを延長したかという点、

<14年に見送りを決めたのは、8%に増税したことによる景気の冷え込みが酷過ぎたからです。> (310 p)

覚えています。

2013年、日本経済は、久しぶりに「これから好景気がくるぞ！」といく期待に満ち溢れていました。

ところが、2014年に消費税が上がると、もう沈んでしま

ったのです。

ちなみに、アベノミクス初年度の2013年、GDP成長率は2.01%でした。

消費税が上がった2014年は、たったの0.3%です。

ところで、財務省は、こういう結果を予想していたのでしょうか？

<財務省は、8%に引き上げてもすぐに景気は回復する、と説明していたけれど、

14年の国内総生産（GDP）は、4～6月期、7～9月期と2四半期連続でマイナス成長でした。>（310p）

安倍さんによると、財務省は、マイナス成長になったことを全然気にしていないようで、

2015年に予定通り再引き上げを行うよう圧力をかけてきたそうです。

具体的には麻生さん（副総理兼財務相）を使って、安倍さんを説得しようとした。

ところが安倍さんは、逆に麻生さんを説得し返したそうです。

さらに、財務省は、驚くべき手を打ってきました。

<財務官僚は、麻生さんによる説得という手段に加えて、

谷垣禎一幹事長を担いで安倍政権批判を展開し、

私を引きずり下ろそうと画策したのです。>（311p）

安倍さんは、憤りつつ、言います。

<彼らは省益のためなら政権を倒すことも辞さない。>

(311p)

ここで、注意が必要です。

安倍さんは、

<彼らは【 省益 】のためなら政権を倒すことも辞さない。>

とおっしゃっています。

<彼らは【 国益 】のためなら政権を倒すことも辞さない。>

とは言っていません。

安倍総理は、「財務省は【 国益 】ではなく、

【 省益ファースト 】で動いている」と見ていました。

さらに安倍総理は、「森友問題も財務省の策略だ」と考えているそうです。

これ、「陰謀論者」がいつてるのではありません。

日本史上最長政権を担った歴史的総理大臣がいつているのです。

<私は密かに疑っているのですが、

森友学園の国有地売却問題は、私の足を掬うための財務省の可能性がゼロではない。> (313p)

というわけで、安倍総理と財務省の暗闘は、7年9か月ずつと続いていたそうです。

財務省について、安倍さんは、決定的な発言をされていません。

財務省は

<国が減びても、財政規律が保たれてさえいれば、満足なんです。> (313 p)

<国が減びても、財政規律が保たれてさえいれば、満足なんです。> (313 p)

<国が減びても、財政規律が保たれてさえいれば、満足なんです。> (313 p)

安倍さんの回顧録を読んで、

「なぜ日本は、暗黒の30年だったのか？」

「なぜ日本は、暗黒の40年にむかっているのか？」

がはっきりわかりました。

◆ 『安倍晋三回顧録』

詳細は↓

<https://amzn.to/3L5aUTj>

これは、歴史に残る資料、記録ですので、まだの方は年末年始を使って是非ご一読ください。

さらに、田村秀男先生、石橋文登先生の

◆ 『安倍晋三vs財務省』

詳細は↓

<https://amzn.to/477scqg>

は、安倍総理の主張の正当性を裏づける名著です。

こちらもぜひ、ご一読ください。

私は今日、なぜこのメルマガを書いているのでしょうか？

読者さんからもう一冊財務省関連の本を勧められたからです。

森永卓郎先生の、

◆『ザイム真理教—それは信者8000万人の巨大カルト』

詳細はこちら↓

<https://amzn.to/41uZBds>

です。

この本を紹介してくださったOさんからのメールを転載させていただきます。

【 メール転載ここから ▼ 】

〈北野様

Oです。

今回の記事も、とても共感しました！

国民が増税路線に明確に反対して、
自民党にも消費税減税しないと次の選挙がヤバいと思わせないとダメだと思います。

今年は「増税メガネ」のわかりやすいレッテルが流行って良かったと思いますが、
もう一つ流行って欲しいのが、「ザイム真理教」です。

経済評論家の森永卓郎先生の著書のタイトルでも使われていますが、

<https://www.amazon.co.jp/dp/4866809310>

財務省がカルト教団化している。

そして、その教義を守る限り、日本経済は転落を続け、国民生活は貧困化する一方になる。

というのは、本当にそうだと思います。

11月11日に京都大学レジリエンス・フェスティバル2023、というイベントがあり、私も参加して、「経済レジリエンス」として、リモートで登壇された森永卓郎先生の講演を拝聴しました。

最近、Youtubeでも配信されてたので、是非多くの方に見て頂きたいのですが、

●経済レジリエンスPart2：「ザイム真理教」と「日本航空123便墜落事故」の不都合な真実 解説：森永卓郎
https://www.youtube.com/watch?v=bcNS85rY_58

経済レジリエンスPart3：財政法4条...ノーパンしゃぶしゃぶ事件...増税メガネ～財務省 一強支配のカラクリ
<https://www.youtube.com/watch?v=Ob-MuVVcDhM>

テレビにもよく出演されてきた森永先生が暴露されていたのが、テレビでは3つのタブーがあり、「ジャニーズ問題」、「財務省の問題」、「日本航空123便墜落事故」について触れるとテレビ番組を下ろされるそうです。

しかし、今、希望が持てるのは、あの「ジャニーズ問題」も、メディアの人はほぼ全員が知っているのに誰も言えなかったのが、報道が動き、多くの国民が知ることになったら、「ジャニーズ帝国」が崩壊したように、

この「ザイム真理教」も倒すことができると感じておられるそうです。

(25分30秒あたりから)

<https://www.youtube.com/watch?v=Ob-MuVVcDhM&t=1530s>

森永先生も、財務省と戦うと逮捕されるリスクがあるけど、それでも覚悟して戦う！と決めたそうです。

(拍手が沸き起こっていました！)

森永先生を応援したいと思います。
いつもありがとうございます。)

【 メールここまで ▲ 】

—

どうも日本国民は、「なぜ日本だけ30年間経済が全然発展しなかったのか」

の答えにたどりついたようです。

安倍総理、田村先生、石橋先生、森永先生、

他に、高橋洋一先生、藤井聡先生

などの努力と勇気によって。

長かった暗黒の30年。

給料は上がらないけど、税金は上がりつづけた。

一人当たりGDP世界2位だったのが、31位まで転落した。

なぜ？

その理由、ついに国民に広く知られるようになってきました。

◆『ザイム真理教—それは信者8000万人の巨大カルト』

詳細はこちら↓

<https://amzn.to/41uZBds>

是非ご一読ください。

◆PS PR

北野の新刊が出ています。

「わけのわからない世界情勢が、めちゃくちゃシンプルにわかるようになりました！」

と評判です。

アマゾンで

- ・戦略・戦術部門1位
- ・その他戦争関連書籍1位
- ・ロシアのエリアスタディ1位

を獲得した

- 黒化する世界～民主主義は生き残れるのか？

詳細は↓

<https://amzn.to/3AWOtJj>

まだの方は、是非ご一読ください。